

# 宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

## 宮崎県第11週の発生動向

### □ 全数報告の感染症 (11 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。

4 類感染症：A 型肝炎 1 例。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	20 歳代	女	肺結核	症状なし
			80 歳代	男	肺結核	咳、喀血
4類	A型肝炎	日向	50 歳代	男	—	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	高鍋	0~4歳	女	—	発熱、咳、肺炎、ワクチン接種歴なし
	梅毒	延岡	20 歳代	女	無症状病原体保有者	—

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 2,384 人 (定点当たり 51.0) で、前週比 75%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患は伝染性紅斑と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザであった。

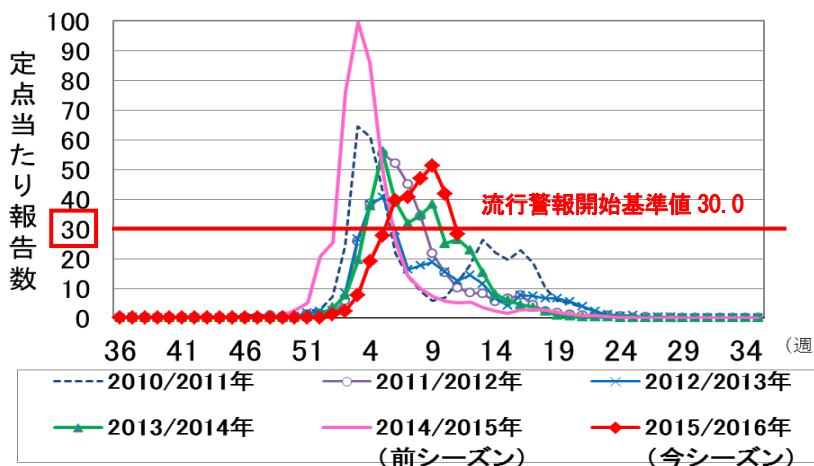
#### ★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

##### 【インフルエンザ】

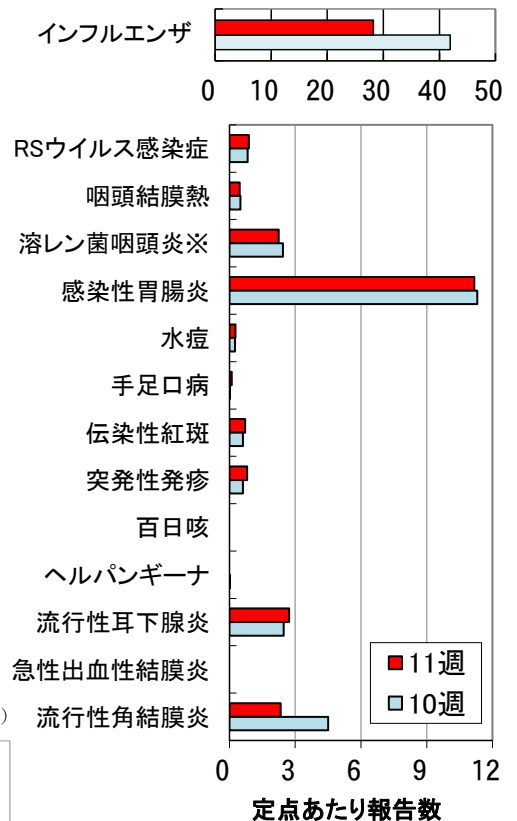
・報告数は 1,664 人 (28.2) で、前週比 67%と減少し、例年同時期の定点当たり平均値\* (13.6) の約 2.1 倍であった。宮崎市 (37.4)、中央 (36.0)、日南 (30.6) 保健所からの報告が多く、年齢群別では 5 歳未満が全体の 24%、5-9 歳が 34%、10-14 歳が 23%、15-19 歳が 3%、20-59 歳が 13%、60 歳以上が 3% を占めた。詳細後述。

\* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

インフルエンザ 発生状況



### 《前週との比較》

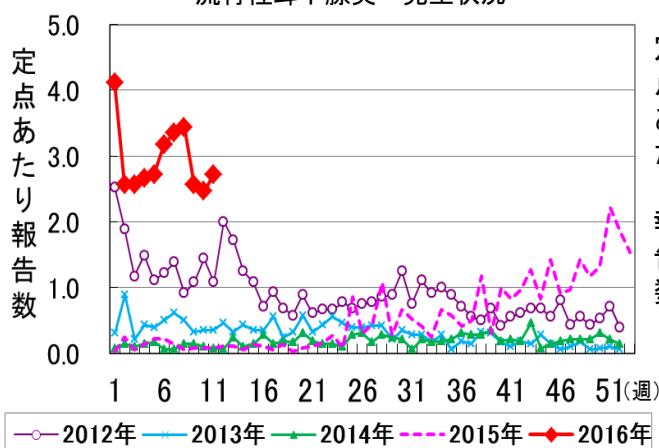


##### 【流行性耳下腺炎】

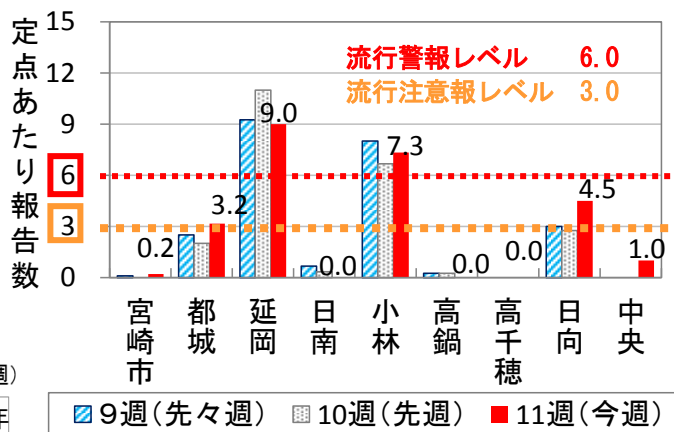
・報告数は 98 人 (2.7) で、前週比 110%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\* (0.88) の約 3.1 倍であった。延岡 (9.0)、小林 (7.3) 保健所からの報告が多く、年齢別では 3~5 歳が全体の約 6 割を占めた。

※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

流行性耳下腺炎 発生状況



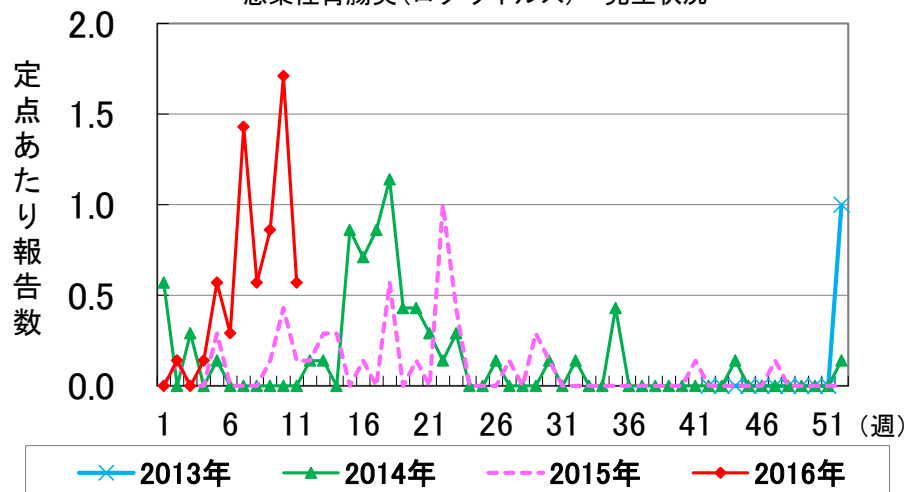
流行性耳下腺炎保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

- 無菌性髄膜炎：延岡保健所から1例報告があった。5～9歳であった。
- マイコプラズマ肺炎：宮崎市保健所から2例報告があった。0～4歳が1例、5～9歳が1例であった。
- 感染性胃腸炎(ロタウイルス)：宮崎市保健所から2例、高鍋及び日向保健所から1例ずつ報告があった。0～4歳が3例、5～9歳が1例であった。

感染性胃腸炎(ロタウイルス) 発生状況



★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(37.4)
都城	インフルエンザ(24.7)、流行性耳下腺炎(3.2)
延岡	インフルエンザ(23.4)、流行性耳下腺炎(9.0)
日南	インフルエンザ(30.6)
小林	インフルエンザ(27.0)、感染性胃腸炎(27.0)、流行性耳下腺炎(7.3)
高鍋	インフルエンザ(22.2)
高千穂	インフルエンザ(12.0)
日向	インフルエンザ(22.8)、流行性耳下腺炎(4.5)
中央	インフルエンザ(36.0)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.0)、伝染性紅斑(4.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・伝染性紅斑(2.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・流行性耳下腺炎(3.0)

## ✚ 全国 2016 年第 10 週の発生動向

### □ 全数報告の感染症（全国第 10 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	367 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	6 例		
4類感染症	E 型肝炎	5 例	A 型肝炎	12 例	ジカウイルス感染症	1 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	7 例	レジオネラ症	18 例
5類感染症	アメーバ赤痢	14 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	15 例
	急性脳炎	12 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例
	後天性免疫不全症候群	22 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	44 例	水痘（入院例）	2 例
	梅毒	59 例	破傷風	1 例	風しん	2 例
	麻しん	1 例				

### □ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 85%と減少した。前週と比較して主に増加した疾患は流行性耳下腺炎とマイコプラズマ肺炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑であった。

インフルエンザの報告数は 139,683 人(28.2)で前週比 80%と減少した。愛媛県(44.3)、愛知県(44.1)、宮崎県(41.9)からの報告が多い。年齢群別では 5 歳未満が 19%、5-9 歳が 35%、10-14 歳が 19%、15-19 歳が 4%、20-59 歳が 18%、60 歳以上が 5%であった。

伝染性紅斑の報告数は 1,342 人(0.42)で前週比 86%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*(0.27)の約 1.5 倍であった。秋田県・山形県(各 2.3)からの報告が多く、年齢別では 4~6 歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2016年 第11週(3月14日～3月20日)

疾病名		第10週	第11週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2472	1664	599	247	164	153	135	133	24	137	72
	定点あたり	41.90	28.20	37.44	24.70	23.43	30.60	27.00	22.17	12.00	22.83	36.00
RSウイルス 感染症	報告数	30	32	5	12	3	1	4	3		4	
	定点あたり	0.83	0.89	0.50	2.00	0.75	0.33	1.33	0.75	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	18	17	10	2		4				1	
	定点あたり	0.50	0.47	1.00	0.33	0.00	1.33	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	88	81	19	19	5	11	2	5		11	9
	定点あたり	2.44	2.25	1.90	3.17	1.25	3.67	0.67	1.25	0.00	2.75	9.00
感染性胃腸炎	報告数	407	402	78	42	33	59	81	46	9	47	7
	定点あたり	11.31	11.17	7.80	7.00	8.25	19.67	27.00	11.50	9.00	11.75	7.00
水痘	報告数	9	10	4		2		1	3			
	定点あたり	0.25	0.28	0.40	0.00	0.50	0.00	0.33	0.75	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	1	4					1			2	1
	定点あたり	0.03	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.50	1.00
伝染性紅斑	報告数	22	26	9	7	1		3	2			4
	定点あたり	0.61	0.72	0.90	1.17	0.25	0.00	1.00	0.50	0.00	0.00	4.00
突発性発しん	報告数	22	29	11	4	4	1	3	3		2	1
	定点あたり	0.61	0.81	1.10	0.67	1.00	0.33	1.00	0.75	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	89	98	2	19	36		22			18	1
	定点あたり	2.47	2.72	0.20	3.17	9.00	0.00	7.33	0.00	0.00	4.50	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	27	14	8	6							
	定点あたり	4.50	2.33	2.67	3.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	5	2	2								
	定点あたり	0.71	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	12	4	2					1		1	
	定点あたり	1.71	0.57	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2016年第1週～11週)

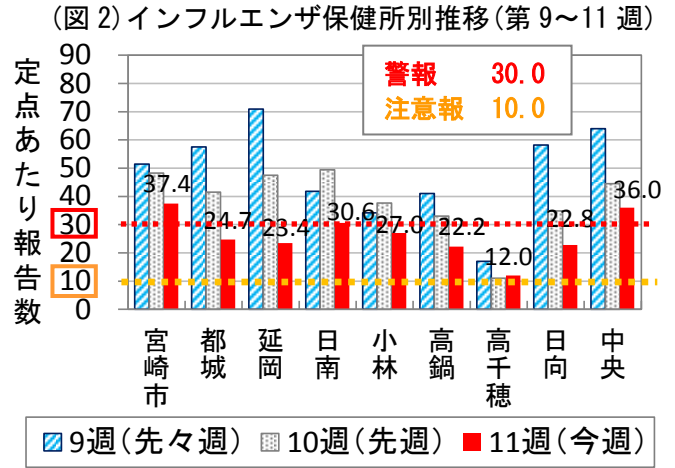
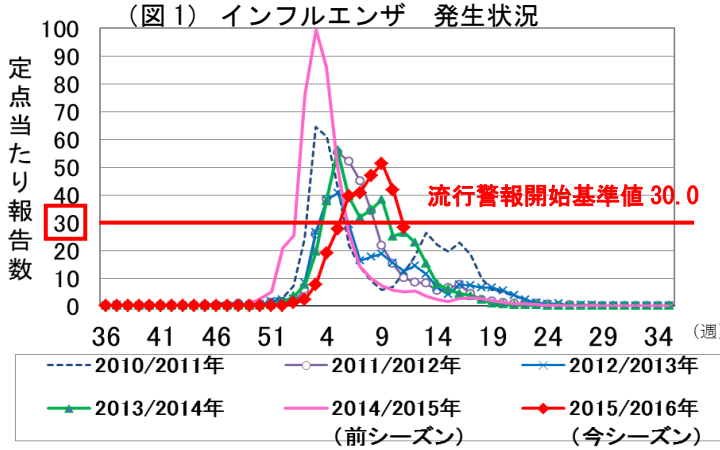
2類感染症	結核	42例(2)			
4類感染症	A型肝炎	3例(1)	つつが虫病	4例	
	アメーバ赤痢	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例	急性脳炎 1例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群 2例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	2例(1)	梅毒 4例(1)
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例	

( )内は今週届出分、再掲

# インフルエンザ情報《県内第11週、全国第10週（再掲）》

## □ 県内第11週インフルエンザ発生動向

2016年3月14日～3月20日までの1週間で1,664人（定点あたり28.2）の報告があった。前週の約0.7倍と減少し、例年同時期の定点あたり平均値\*（13.6）の約2.1倍であった（図1）。宮崎市（37.4）、中央（36.0）、日南（30.6）保健所からの報告が多く（図2）、5歳未満が全体の24%、5-9歳が34%、10-14歳が23%、15-19歳が3%、20-59歳が13%、60歳以上が3%を占めた（図3）。

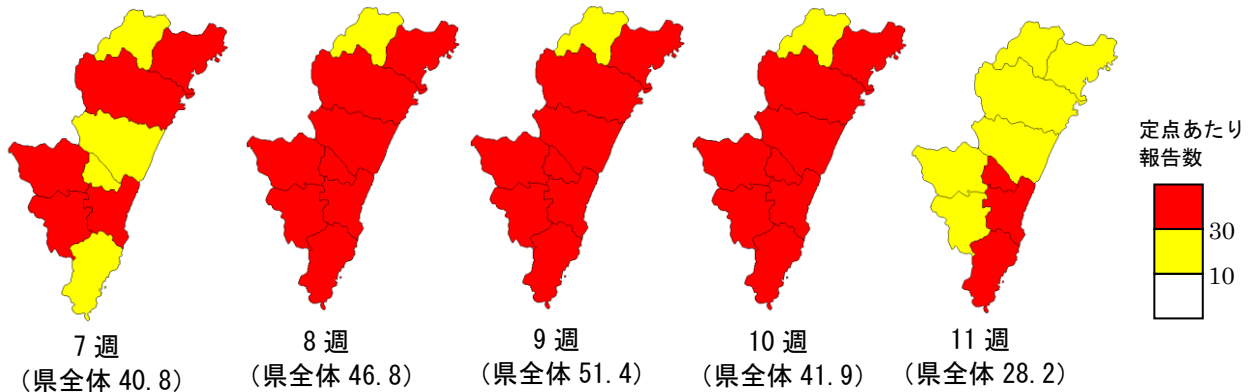


(図3) 年齢群別割合の推移(第7～11週)

週	7週	8週	9週	10週	11週
2,408人	25%	37%	16%	4%	15%
2,762人	24%	41%	16%	3%	13%
3,030人	22%	39%	19%	3%	13%
2,472人	23%	38%	19%	3%	13%
1,664人	24%	34%	23%	3%	13%

5歳未満  5～9歳  10～14歳  15～19歳  20～59歳  60歳以上

保健所別インフルエンザ警報・注意報レベル状況 第7～11週



## □ 全国第10週インフルエンザ発生動向

2016年3月7日～3月13日までの1週間で139,683人(28.2)で前週比80%と減少した。愛媛県(44.3)、愛知県(44.1)、宮崎県(41.9)からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が19%、5-9歳が35%、10-14歳が19%、15-19歳が4%、20-59歳が18%、60歳以上が5%であった。